

豊作祈り 的を射る。



【写真】今年の豊作を祈る十郎原地区の春祭り「弓引き祭り」



第5回

『ある家族の手紙①』



『移住』という夢

私

「私たち一家は能登半島へ移住することに決めました。かの地で自給力を高めた暮らしをします。古い民家を借りて村人として生活します。田んぼを借りて家族四人が食べていけるだけの米と、傍らの畑で野菜を作りながら、山野草・キノコ・木の実の恵みを得ます。あるものをおいしくいただく。「買う暮らし」から「つくる暮らし」へのシフトです。」

もう好きなことを後回しにしないという決心をしたら、幸い能登で職が見つかりました。能登を舞台にしたエコツーリズムによる地域振興です。自然だけではなく里山里海の生活文化や生業（なりわい）を紹介するガイドプログラムに、私は可能性を見出しました。きっと皆様に能登ならではの旅へとご案内いたします。

妻は田舎カフェを夢見ています。特に紅茶が好きなのでお茶カフェ「かなc a f e」がいいと、もう名前まで決まっています（笑）。能登の茶畑から茶葉を摘んで揉んで発酵させた「和紅茶」を皆さんに提供するという地産地消の六次産業化構想。これは応援したいです。娘はそこで週一回、大きな「家族プリン」を作って売ると決めています。きっと素敵な喫茶店になりますからオープンしたらお知らせします。

娘と息子はまさに「となりのトトロ」を体験することになるでしょう。学校や友達も大切ですが、それ以上に自然から学んでほしい。その不思議・神秘・畏怖・多様さ・つながり・ひらめきを。子供の毎日が強靱な心と美しい感性を育むように切に願っています。ついでに子供の「センス・オブ・ワンダー（未知なるものにとときめく心）」が私に及んで、都会で錆びついてしまった感性が目覚め、真に求めるものに会えると期待しています。』

*これは三年前、友人に送った別れの手紙の一部です。

写真・文 山崎昭宏



【PROFILE】Yamazaki Akihiro

昭和42年埼玉県生まれ。平成21年能登町笹川に移住。小学校で2回、中学校で3回転校。引越9回、大学進学以降、仕事場は東京。転職7回、主に貿易関連業でヨーロッパ出張多数。学生時代に自転車で日本を一周したが能登には寄らなかった。ブログ：ゆらりぶらり <http://blog.livedoor.jp/yurairiburari/>



音楽のチカラ

結成から四半世紀。
町の音楽シーンを常にリード
してきたバンドがある。
『宇出津吹奏楽研究会』。
イベントやコンサートなど、
さまざまな場所で私たちに生
の音楽を届けてくれる市民バ
ンド。
25周年を迎えた宇出津吹奏楽
研究会の活動やメンバーの思
いを取材した。



継続は力

「楽しくなければ音楽じゃない」を合言葉に、音楽を通して地域に元気を発信し続けてきた宇出津吹奏楽研究会。25回目を数える定期演奏会が開かれた。

節目の定期演奏会

宇出津吹奏楽研究会（以下宇出津吹研）の第25回定期演奏会は3月24日、能都庁舎4階大ホールで開かれた。演奏会には約40人の会員が出演。第一部では吹奏楽の定番曲、第二部では映画音楽や歌謡曲など幅広いジャンルで計11曲を演奏した。

指揮者を務めるのは、結成時から変わらず坂武夫さん（63）＝小木＝。出演した約40人の中には、坂さんの後輩で元プロのアルトサクソフ奏者、浜岡実さん＝金沢市在住＝や、定期演奏会のために県外から駆けつけたメンバーもいた。

25回目という節目の定期演奏会。会場には、約二百人が詰めかけて生の吹奏楽に耳を傾けた。宇出津吹研の演奏会は、「楽しくなければ音楽じゃない」

の合言葉どおり、出演者と観客が一緒に音楽を楽しみ、会場が一体となる。この日の演奏会も、その場にいると元気が出て、心温まる『宇出津吹研らしい』コンサートとなった。

地域に根差した活動を

昭和62年、宇出津高校吹奏楽部OBが中心となって結成された宇出津吹研。現在の会員は町外のメンバーを含めて約50人で、年に一回の定期演奏会をはじめ、能都中学校、能登高校の吹奏楽部と共演するクリスマスコンサートなどさまざまなイベントに出演している。

数馬孝会長（45）＝宇出津＝は「25年続けてきて、地域の皆さんから声をかけてもらえるようになってきた。これからも地域に根差して、末永く活動していきたい」と話している。

▼チラシや看板など、すべて手作りの演奏会



能登音楽愛好会 会長
鍛冶谷 真一さん

吹研の演奏会は、音楽の 力を感じさせてくれる。

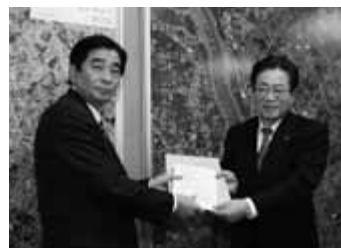
生の音楽をここまで続けてきたのは、本当にすごいことです。定期演奏会では、この日のために休みを取って県外から参加するメンバーまでいます。人を引き付け、心を動かす音楽の力を改めて感じさせてくれる演奏会でした。中高生プラスバンド部員にとって、吹研は憧れであり目標です。子どもたちの成長にとっても、吹研の役割は大きいと思っています。

届け！負けるな！勇気の音色！

能都中学校吹奏楽部、能登高校吹奏楽部と宇出津吹奏楽研究会で構成する「宇出津プラスバンズ」は、昨年の東日本大震災以降、「届け！負けるな！勇気の音色！」を合言葉に各種コンサートを開催。冬の恒例「X'mas コンサート」からチャリティーコンサートとして募金を募っている。

集まった募金は、流山市の姉妹都市である福島県相馬市の市立向陽中学校プラスバンド部に、能都中学校吹奏楽部員のメッセージと共に贈られた。

「福島が能登でいつの日か合同演奏会を開きたい」という夢を描きながら、宇出津プラスバンズのメンバーは、今後もチャリティーコンサートを継続していく予定だ。



1月17日、宇出津プラスバンズから募金を託された持木一茂町長が、立谷秀清相馬市長に直接手渡した。（流山市役所で）

大切な場所



宇出津吹研の練習は週2回。仕事や家事を終えたメンバーが、それぞれのタイミングで集まってくる。楽器好きのメンバーにとって、思い切り演奏ができる貴重な時間だ。

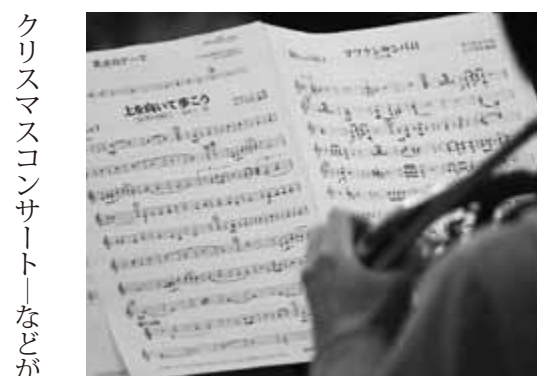
参加も集合時間も自由な練習

遠島山公園ハーモニーセンターに管楽器の音色が響き渡る。宇出津吹研の練習日は、毎週木曜日と土曜日の夜7時から9時まで。仕事を抱える社会人バンドとして、参加も集合時間も自由だ。演奏会前であれば30人以上集まるが、少ないときは3、4人の場合もあるという。

最初は個人やパートごとに練習。人数がそろえば、演奏会の曲について話し合い、音を合わせる。楽器に向かうメンバーの表情は真剣そのものだ。

一年に10回以上の出演 派生グループも

年に10回以上は演奏会に出演するという宇出津吹研。一年の締めくくりとなる定期演奏会のほか、恒例の行事として▼奥能登地区野外演奏会▼プロムナードコンサート▼サマーコンサート▼石川県市民バンドフェスティバル▼



経験豊富なメンバーは、新しい曲でも1、2回合わせるだけで形になるという。この日は次の演奏会で披露する歌謡曲を中心に練習していた。

クリスマスコンサートなどがある。ほかに、町や商工会などが主催するイベント、地区の文化祭、少人数メンバーでの慰問演奏など、少なくとも月に1回はどこかに出演している状況だ。少人数での演奏では『宇出津吹研』ではなく、構成メンバーによって『遠島山ウインドアンサンブル』やポップス中心の『軽音楽部』などの派生グループができる。

音が大きい管楽器は、社会人にとってどこでも練習できる楽器ではない。週2回、2時間限定。ハーモニーセンターはメンバーの大切な場所だ。



トロンボーン

萬田賢一郎さん

まんた・けんいちろう (43) 宇出津



事務局として雑用全般を担当しています。ブラスバンドは中学3年間だけの経験でしたが、リターンしたとき当時の会長で憧れの先輩だった堀正博さんに誘われて入りました。

私にとって吹研は遊び場のようなもの。みんなの手伝いをしているふりをして、自分が楽しんでいます。これからもメンバーと楽しくやっていきたいですし、死ぬまで関わりたいと思っています。現在、吹研の公式ホームページを制作中です。近日公開予定なので、ぜひご覧ください。

トランペット

渡 絵美さん

わたり・えみ (28) 崎山



中学、高校時代に吹研の皆さんと一緒に演奏して、大人と一緒にやるのは楽しいと感じていました。吹研に入ったのは昨年12月から。地元に戻ってきて、萬田さんに声を掛けられました。就職してから5年間吹いていなかったの、まだまだ音は出ていませんが、学生時代とは違った楽しみがあります。

吹研は年齢や性別に関係なく、アットホームな雰囲気の中で気兼ねなく演奏できる場所。ストレス解消の一つとして、趣味として、私の生活の一部になっています。



宇出津吹奏楽研究会 会長
数馬 孝さん
kazuma koh (45) 宇出津

音楽も人生も、自分の思い通りに
ならないことがあるから面白い。

ここまで長続きするバンドはめずらしいと思います。なぜ宇出津吹研がこれまでやってこれたのか。その理由の一つは、良い意味で『適当』にやってきたからです。力を入れすぎても続かないし、緩すぎても続きません。25年間変わらず、バランス良くやってきたことが良かったのだと思います。

宇出津吹研は『吹奏楽団』ではなく『研究会』。『研究』という言葉には、

向上心を持ち続けよう、何でもやってみようという思いが込められています。これからも、いろいろなことに挑戦していきたいと考えています。メンバーは音楽、そして楽器が好き。人間ばかりです。『吹研』をやるのではなくて、好きな楽器を演奏するために集まっています。

音楽も人生も、自分の思い通りにならないことがいっぱいあるから面白い。

親から子へ



親子で宇出津吹研に参加する

上野英明さん
加代子さん
奏笑さん

家族で音楽をできることが幸せです。

上町在住の上野英明さん(47)と妻加代子さん(46)、娘の奏笑さん(13)は、家族3人で宇出津吹研に参加する音楽一家だ。

英明さんは宇出津吹研設立メンバーの一人。「大学を卒業して地元で就職したとき、10人程度のOBバンドではなく本格的にやろうと声をかけました」と振り返る。

加代子さんは、宇出津高校吹奏楽部で英明さんの一年後輩。昭和62年にUターンして、宇出津吹研に入った。英明さんについて「音楽に対する考え方は昔から変わらず、自分に厳しい人。尊敬しています」と話す。

上野夫妻はメンバー同士で結ばれたカップル第1号。結婚式には宇出津吹研のメンバー約40人が集まり、生演奏で盛り上げたという。3人の子供には和音、^{たぐと}奏笑と音楽にちなんだ名前を付けた。和音さんは中学2年から吹奏楽部に入部。高校時代に定期演奏会など3回、同じステージに立った。

「子供に強制したことはなかったが、音楽をやっている姿を見るのはうれしかった」と英明さん。加代子さんは「娘

が生まれてから、一緒にクラリネットを吹くのが夢でした」と目を細める。

奏笑さんは昨年4月、中学進学と同時に吹奏楽部へ。楽器は母親と同じクラリネットを選んだ。「吹研に参加することで、大人で演奏する楽しさを知ってほしい」という両親の思いを受けて、11月から宇出津吹研に参加。部活動と吹研の両方で練習に励む。

「小さいころから、音楽をする両親は楽しそうに見えました。何歳になっても吹き続けてほしいです」と話す奏笑さんに両親は「高校、大学、大人になっても続けて、音楽を楽しんでほしい」とメッセージを贈る。



本番も練習も、同じ楽器の加代子さんと奏笑さんは並んで演奏する。奏笑さんにとって、加代子さんがクラリネットの先生であり目標だ。

うまいか下手かではなく、
良いか悪いか——。

生の音楽の臨場感を
感じてほしい。

宇出津吹奏楽研究会 指揮者

坂 武夫さん

Saka Takeo (63) 小木

「宇出津高校OBバンド」を結成。その後、昭和62年に宇出津高校以外のOBや現役高校生なども含めた『宇出津吹奏楽研究会』を結成した。当時、市民バンド自体が少なく、奥能登全域から約50人が集まった。

をやる場所を作ろうと思った」

宇出津吹奏楽研究会で25年間、指揮者を務める坂武夫さん（63）＝小木＝は吹研結成の経緯を振り返る。

小木中学校、飯田高校時代はブラスバンド部に所属し、トランペットを吹いていたという坂さん。大学を中退して地元に戻った40年前、高校時代の恩師から宇出津高校ブラスバンド部の指導を頼まれた。

「トランペットを吹くことはできても指導経験はまったくなかった。指揮法も含めて一から勉強し直した」

指導を続けていくと、Uターンで地元に戻ってくるOBも増えてきた。坂さんは教え子であるOB約10人と『宇

出津高校OBバンド』を結成。その後、昭和62年に宇出津高校以外のOBや現役高校生なども含めた『宇出津吹奏楽研究会』を結成した。当時、市民バンド自体が少なく、奥能登全域から約50人が集まった。

吹研の音楽はB級グルメ

「ブラスバンドにはコンクール至上主義がある。吹研はコンクールを目指す王道ではなく、B級グルメのようなもの。音痴でも歌い、下手でも演奏する。どうアピールさせるか、いかにメンバーをかつこよく見せるかが指揮者である自分の仕事」と言い切る。

宇出津吹研のテーマである『楽しくなければ音楽じゃない』は、演奏するメンバーはもちろん、観客も一緒に楽

しむこと。そのスタイルは、ほかの市民バンドとは一線を画し、『宇出津吹研らしさ』として音楽関係者のファンも多いという。

「会場に足を運んで聴いてくれたお客さんに『ブラスバンドっていいな』と思ってもらえる演奏。それは、うまいか下手かではなく、良いか悪いかだ」

目指すは『おらが町のバンド』

「市民バンドの運営は難しい」と坂さんは語る。年齢も職業も幅広い社会人が中心。考え方や音楽性も違うために意見の対立が起きやすいからだ。

「練習に半分しか参加できない人もいれば、レベルを高めたいという人もいる。大切なことはバランスを取ることに。市民バンドが存続するためには、

お互いを尊重しあう『なあなあ関係』が必要であり、吹研にはそれがある」

活動が長年続いているもう一つの理由は、主要メンバーのほとんどが学生時代に坂さんの指導を受けた教え子であることも大きい。『坂さんと一緒にやりたい』『坂さんの指揮で演奏したい』とメンバーは口をそろえる。そこには、時に優しく、時に厳しく指導する坂さんへの絶対的な信頼感がある。

『おらが町のバンド』として自他共に認められるバンドを目指したい」と語る坂さん。夢は演奏会に500人以上の観客を集めることだそう。

「生の音楽には力がある。その臨場感を会場を感じてほしい」

宇出津吹研が継続していくために、音楽で地域を元気にするために、坂さんはこれからも指揮棒を振り続ける。

◆会員登録のしかた

- ①予約制乗合タクシー会員登録書（役場窓口、タクシー会社、
院外処方せんコーナーに設置）に必要な事項を記入して、処
方せんコーナーの職員に渡してください。
後日、会員証と利用者の手引きを自宅に郵送します。
- ②その日に利用したい場合は、「(仮) 会員証」が使えます。

◆予約電話番号 ☎62—1316（域内電話では）

処方せんコーナーにつながります。会員番号、名前、利用
する日、利用する便、乗る場所、降りる場所などを伝えてく
ださい。

宇出津総合病院の総合受付前にある院外処方せんコーナー



◆おでかけ便（自宅近く→宇出津） ※予約は前日 9:00～17:30 まで

	上長尾 合鹿エリア	当日・柳田 エリア	柏木・中斉 宮地・鶴町 エリア	瑞穂・鶴川 エリア	真脇・小木 白丸エリア	不動寺 松波エリア
到着時刻	—	柳田庁舎 ①8:10頃着 ②9:40頃着	—	—	—	—
	宇出津（おりば・宇出津総合病院 ・にここ広場 ・能登町役場） ① 8:30 頃着 ② 10:00 頃着					

※月曜日や休日明けの利用は、前週金曜日または休日前の平日 17:30 までに予約が必要です。

◆おかえり便（公立宇出津総合病院→自宅近く）

※予約は当日出発 1 時間前まで（院外処方箋コーナーで口頭でも受け付けます）

	上長尾 合鹿エリア	当日・柳田 エリア	柏木・中斉 宮地・鶴町 エリア	瑞穂・鶴川 エリア	真脇・小木 白丸エリア	不動寺 松波エリア
出発時刻	①11:30頃発 ②13:15頃発	①11:30頃発 ②13:15頃発	①11:45頃発 ②13:45頃発	①11:45頃発 ②13:30頃発	①12:00頃発 ②13:30頃発	①12:00頃発 ②13:00頃発
	—	柳田庁舎 ①11:45頃着 ②13:30頃着	—	—	—	—

◆運賃

1 回乗車当たり
一人 1,000 円
保護者同伴の小学生
以下は無料

◆運行日

平日（月～金）
土・日・祝日・年末
年始は運休

◆問い合わせ・相談窓口

能登町地域公共交通
協議会事務局
（町企画財政課内）

☎ 62-8503
（平日 9:00～17:00）



予約制乗合タクシー 本格運行スタート!!

宇出津地区と町内各地を結ぶ予約制乗合タク
シーの本格運行が4月2日、スタートしました。
これまで路線バスの利用が不便な交通空白地
域でも、通院や買い物など生活に必要な最低限
の移動手段が確保されました。

宇出津地区へ 自宅前から千円で

予約制乗合タクシーは、宇
出津地区を除く町内全地域を
6つのエリアに分け、自宅付
近から宇出津方面へ向かう
「おでかけ便」と公立宇出津
病院発の「おかえり便」が一
日2便運行されます。利用は
予約制で、同じ方面の利用者
は最大4人まで同乗。料金は
一人片道千円です。

利用には会員登録が必要
で、新規登録や乗車予約は宇
出津総合病院の院外処方せん
窓口で受け付けています。

2日に宇出津総合病院前で
行われた出発式では、タク
シー会社関係者など約30人が
事業の本格運行を祝いまし
た。持木一茂町長は「今後も
利用者の要望を聞き、ルート

の変更や増便などを検討して
いきたい」と話しました。

月に約140人が利用

この事業は、公共交通空白
地域の解消などを目的に、能
登町地域公共交通協議会が21
年度から運行実験を実施して
きました。3カ所のモデル地
区で帰宅便のみの運行から、
22年度には町内全域に拡大。
往復便の運行や登録会員によ
る電話予約制の導入など、利
用者の要望を確認しながら、
本格運行に向けてトラブルや
問題点を抽出してきました。

現在の会員数は約260
人。23年度は一カ月平均で約
140人が利用しました。
利用方法や発着時間など詳
しくは、次ページを参照して
ください。

石川県漁船安全強化月間出港式 救命胴衣の着用を呼びかけ

石川県漁船安全強化月間の初日である4月10日、宇出津港で取締船出港式が行われました。港には県の出港式

の取締船「てどり」と「ほうだつ」のほか、能登海上保安署巡視船「おぎかぜ」と能登高校実習船「おおとり丸」が集まり、一般公開されました。



宇出津港から出港する取締船「ほうだつ」

24人に金沢大学学長から認定書 はばたけ能登里山マイスター

「能登里山マイスター」養成プログラムの修了式は3月17日に行われ、最後となる4期生24人が金沢大学の中村信一学長からマイスター認定書を受けました。修了式で中村学長は「能登の明日を担う志を持ち、時代を切り開いてほしい」と式辞。能登町から最後のマイスターに認定されたのは次の皆さんです。

- 浅井由佳さん（小木）●池田紘一さん（柳田）
- 杉本和寛さん（武連）●西中宏美さん（松波）



中村学長から認定書を受ける4期生

ドライバーに交通安全を呼びかける参加者



春の全国交通安全運動 涅槃団子に込めた安全の願い

春の全国交通安全運動期間中の4月9日、シートベルト全席着用推進キャンペーンが松波地内で実施されました。キャンペーンには、珠洲警察署員のほか内浦レディードライバーズクラブ会員、能登交通安全協会員など約30人が参加。内浦レディードライバーズクラブの皆さんが手作りした涅槃団子入りのお守りやチラシを配布しながら、シートベルトの全席着用とチャイルドシートの正しい着用を呼びかけました。

ヤマメを放流する能登高校生



能都ロータリークラブと能登高生がヤマメ放流 ヤマメが育つきれいな川に

能都ロータリークラブの会員20人が4月19日、宮地地区の山田川上流や神野地区でヤマメの稚魚5,000匹を放流しました。環境保全活動の一環として28年目を迎えたヤマメの放流。宮地地区では、能登高校地域創造科の水産コース、商業コースの3年生17人も参加しました。能登高校生は、県の内水面水産センター（加賀市）から運ばれた体長約5センチの稚魚を優しく川に放していました。

酒樽がえし 能登に春の訪れを告げた、2年ぶりの奇祭

下帯姿の男衆が田んぼや海で酒樽を奪い合う奇祭「酒樽がえし」が4月2日、藤波地区で2年ぶりに行われました。神目神社でおはらいを受けた10人の男衆は、酒を入れた酒樽を担いで田んぼに向かって走り出しました。田んぼに到着すると、たくさんの見物人やカメラマンが見守る中、威勢良く酒樽を奪い合い豊作を祈願しました。

酒樽の酒を飲んで景気をつけたあと、海へ移動した男衆。今度は大漁を祈願するために、まだ冷たい海の中で「ワッショイ、ワッショイ」と酒樽を奪い合いました。



▲移動するときは、酒樽を男衆が交代で担ぐ。樽の中で激しく揺さぶられた酒の味は格別

◀酒樽を奪い合う男衆。祭りの後は見物人に酒樽の酒が振る舞われた

輪島法人会がおおとり会に寄付 デジタルテレビで作業も楽しく

輪島法人会が3月21日、社会福祉法人おおとり会にデジタルテレビ2台とブルーレイレコーダー1台を寄付しました。604の事業所が加入する輪島法人会は、平成15年から毎年、社会福祉法人に寄付を行っています。施設を訪れた数馬嘉雄副会長は「テレビを楽しんで、これからも作業を頑張ってください」とあいさつ。施設利用者全員で「ありがとうございました」と元気にお礼をしました。



お礼を述べて数馬副会長と握手する利用者

鬼に向かって矢を放つ氏子ら



鬼討ち祭り 鬼を退治して今年の豊作を祈願

木住地区の春祭り「鬼討ち祭り」は3月28日、木住神社で行われました。その昔、災いの象徴であった猿鬼を退治したことを祝って行われるようになったこの祭りは、400年以上の伝統があります。氏子らは、的に描かれた鬼に向かって次々と矢を放ち、今年も無事鬼を退治しました。鬼退治の後には「花祭り」が行われました。桃の枝を両手に持ち、即興で踊る姿に神社の中は笑い声で包まれていました。

ニュース 被災地に職員派遣

宮城県亘理町で災害復旧活動

本年度、被災地に派遣される町職員、平茂之さん（38）と山口竜次郎さん（35）に3月30日、派遣辞令が交付されました。二人は宮城県亘理町で1年間、公共施設の災害復旧事業にあたります。

持木町長は「二人の力を十分に発揮して、亘理町のために頑張ってもらいたい」と激励。平さんは「これまでの経験と知識を最大限に発揮して、一日も早い復旧に努力したい」と決意を述べました。



辞令を受け取る平さん（左）と山口さん

お知らせ 農業生産振興対策事業

ブルーベリーを栽培してみませんか

町は、農地の利活用と特産品であるブルーベリーの産地化推進のため、植栽に対する補助事業を実施しています。

植栽作業、その後の指導や助言はモデル農場が行いますので、初めての人も安心して取り組みます。

◆補助限度額 苗木1本当たり1,600円まで

◆植栽面積・本数 2㎡以上
（1㎡当たり15～25本の植栽）

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

☎農林水産課 ☎ 76-8302

☎(株)能登町ふれあい公社モデル農場 ☎ 76-0014



ニュース 交通安全旗寄贈

おおぞら農協、内浦町農協から交通安全旗が寄贈されました

農業協同組合の社会貢献活動の一環として、新一年生104人分の交通安全旗が4月3日、教育委員会事務局に寄贈されました。

おおぞら農協の河谷内常務理事と内浦町農協の中谷代表理事組合長が教育長室を訪れ、中口教育長に交通安全旗を手渡ししました。



交通安全旗を手渡す河谷内常務理事（右）と中谷組合長

ニュース 図書館情報システム始動式

図書館の貸出、検索が簡単便利に

町立中央図書館（字出津）と柳田教養文化館に図書館情報システムが導入され、4月1日に中央図書館で始動式が行われました。システムの導入によって、利用者と図書館（本・DVDなど）の情報がバーコードで管理され、貸出、検索、集計業務が簡略化されました。

▶館内の端末やインターネットから蔵書検索や貸出予約が可能に



募集 町営住宅入居者募集

■募集期間 5月15日(火)まで

■対象住宅 城野団地（3DK）2戸
住所所在地 字字出津山分5-26
家賃 月額約25,000～35,000円

■入居資格

- ①能登町に住所を有する人（予定者を含む）
- ②住宅に困窮していることが明らかでない人
- ③町税などの滞納がない人
- ④収入基準 入居者の所得月額が158,000円以下
- ⑤单身の方よりも複数世帯を優先します。

☎建設課住宅係 ☎ 76-8304

【能登町役場】 ☎ 62-1000（代）
能登庁舎（RⅡ62-4506）
総務課 ☎ 62-8510
企画財政課 ☎ 62-8503
監理課 ☎ 62-8504
税務課 ☎ 62-8505
環境対策課 ☎ 62-8507

町民課 ☎ 62-8500
能登サービス室 ☎ 62-8500
ふるさと振興課 ☎ 62-8532
会計課 ☎ 62-8509
柳田庁舎（RⅡ76-0039）
広報情報推進課 ☎ 76-8301
農林水産課 ☎ 76-8302

柳田サービス室 ☎ 76-8300
農業委員会 ☎ 76-8303
建設課 ☎ 76-8304
内浦庁舎（RⅡ72-2108）
健康福祉課
（児童保育） ☎ 72-2512
（医療介護） ☎ 72-2502

（福祉庶務） ☎ 72-2503
（健康推進） ☎ 72-2504
（包括支援） ☎ 72-2513
内浦サービス室 ☎ 72-2500
上下水道課 ☎ 72-2507
教育委員会事務局 ☎ 72-2509
議会庁舎 議会事務局 ☎ 76-8310

お知らせ ふるさと納税

ふるさとと能登町を応援してください

「ふるさと納税制度」は、生まれ育ったふるさとに貢献したい、関わりが深い地域を応援したいという思いを実現するため、自らの意思で納税先を寄附という行為によって選択できるものです。

町出身や町と縁がある親類・ご友人などにも声をかけていただき、皆さんでふるさと能登町を応援してください。

H23年度のふるさと納税は次のように活用しました

昨年度は、30件2,817,000円のご寄附をいただきました。本当にありがとうございました。いただいたご寄附は、次のように有効に活用しました。

平成23年度ふるさと能登町応援寄附の用途
循環型社会の構築と地球温暖化防止に向けた施策（木質ペレットストーブ設置費に活用）
能登海洋深層水の利活用を推進するための施策（「しおサミット in 能登」開催に活用）
国指定史跡である真脇遺跡の保存・整備（環状木柱列復元工事に活用）
地域文化を継承していくための施策（能登町田野荘の調査・保存事業に活用）
その他町長が必要と認める施策（薬品保管庫購入事業、テニスによる町づくり推進事業に活用）

☎ふるさと振興課 ☎ 62-8532

お知らせ 水道料金改定

5月使用量（6月請求分）から水道料金が改定となります

■新しい給水使用料金（税込み）

基本料金（1月につき） 8㎡まで 1,650円
超過料金 1㎡につき 260円

■量水器使用料（税込み）メーターの給水栓口径

○13mm 100円 ○20mm 150円 ○25mm 200円
○30mm 250円 ○40mm 450円 ○50mm 850円
○75mm 1,500円

☎上下水道課 ☎ 72-2507

お知らせ ふるさと定住 住宅助成金

U・Iターン者の住宅新築、中古住宅の改築費用の一部を助成します

能登町内への移住・定住を促進し、地域の活性化を図ります。

■ふるさと定住 住宅助成金

〈助成条件〉

- ①U・Iターンし、自らが定住すること
- ②20歳以上であること
- ③助成金交付日から5年以上定住する意思があること
- ④住宅は町に営業所、事務所を有する住宅建設関連事業者の施工であること
- ⑤地域住民と積極的に交流を図る意思があること

◆新築住宅への助成

〈助成対象者〉

転入して2年未満の新築で、かつ、工事請負契約・売買契約締結後3カ月以内に認定申請する人

〈助成金額〉 500,000円

◆中古住宅改築への助成

〈助成対象者〉

転入してから1年未満に中古住宅を購入し、その売買契約から1年未満に改築する人で、認定後直ちに改築工事できる人

〈助成金額〉

- ・ふるさと空き家情報登録物件
改築工事費の1/2（限度額500,000円）
- ・ふるさと空き家情報未登録物件
改築工事費の1/2（限度額250,000円）

※詳しくは下記までお問い合わせください。

☎ふるさと振興課 ☎ 62-8532

は飛ぶように売っていました。ベトナムの名物料理を作った



▲友人の田中暁甸さんとギョーザ作りに追われる浅井さん（左）

また、台湾出身で輪島市に住む七浦禎蓮さんは、いろいろな台湾茶を並べていました。桜はまだ開花していなかったものの好天に恵まれ、訪れた人たちは、外国の食文化を身近に感じていました。

中国大連市出身で能登町在住の浅井麗華さんは得意の水ギョーザを販売。能登国際交流サロンでもたびたび腕前を披露している浅井さんの料理は好評で、1200個のギョーザ



▲泊さんの屋台では、来場者が先を競ってフォー・ガーを買い求めている

外国の食文化を身近に

花見イベントで料理披露

三波公民館が4月15日に開催したお花見イベント「波並で花見」では、一昨年度まで石川県の多文化共生推進員だった3人が外国の食文化などを紹介しました。

のは穴水町の泊祥子さん。泊さんは2002年10月から一年間、ベトナムにある民間の日本語学校で日本語教師をしていた

消防 救急救命士

能登消防署に新しい救急救命士誕生

この度、川本京介士長が救急救命士国家試験に合格しました。

川本土長は「半年間の救急救命東京研修所において学んだ事を糧に、町民の皆さんのために精一杯頑張ります」と抱負を述べていました。

能登消防署では現在、川本土長を含め16人の救急救命士が活動しています。



川本京介士長

お知らせ 外国人登録をされている人へ

仮住民票の確認をお願いします

平成24年7月9日から、住民基本台帳法の一部改正が施行され、外国人住民に住民票が作成されます。対象になる人は、中長期在留者（3カ月を超えて在留する外国人）と特別永住者です。

正確な住民票作成のため、下記にご協力をお願いします。

①「仮住民票」を郵送します

平成24年5月7日以降に、仮住民票を対象者へ郵送します。仮住民票は7月9日に住民票となるものです。お手元に届いたら内容をご確認ください。内容に相違点や変更点がある場合は、できるだけ6月末までに役場町民課までお知らせください。

②正確な外国人登録の届出をお願いします

仮住民票は、外国人登録原票をもとに作成されます。スムーズに住民票へ移行するため、7月9日以前に外国人登録事項に変更のある人は、忘れずに届出をお願いします。

〈問い合わせ〉

仮住民票の内容に関すること 町民課 ☎ 62-8500
外国人住民に関する住民基本台帳制度の相談窓口 ☎ 0570-066-630

納期 税金 / 保険料

今月の納期限は5月31日(木)です。

〈税金〉固定資産（都市計画）税第1期
〈保険料〉後期高齢者医療保険料第2期

お知らせ 地域産業育成・活性化支援事業

地域資源等を活用した新たなビジネス創出に補助金を交付します

地域資源等を活用した事業や、独自性の高いアイデアでの新たなビジネス展開を支援し、能登町の地域産業と地域の活性化を促進します。

【公募期間】 平成24年5月1日(火)～5月31日(休)

■開業・事業拡大支援事業

〈補助対象者〉

- ①町に事業所等を有する個人・団体・中小企業
- ②事業拡大に伴い3カ月以内に、新たに1人以上（6カ月以上）を雇い入れる個人・団体・中小企業

〈補助対象事業〉

- ①開業 ②新規分野への進出 ③異業種転換
- ④新連携事業（異分野連携新事業開拓）

〈補助金額〉

補助対象経費の1/2以内（限度額1,000,000円）

■地域資源活用ビジネス支援事業

〈補助対象者〉

町に事業所等を有する個人・団体・中小企業

〈補助対象事業〉

- ①地域資源等を活用した特産品開発・販路開拓（地域ブランドの創出支援）
- ②地域資源等を活用した観光地・魅力拡大（観光地づくり）

※能登町農林水産物加工開発センター利用加算

〈助成金額〉

補助対象経費の2/3以内（限度額500,000円）

※能登町農林水産物加工開発センター利用加算

2/3以内（限度額50,000円）

■地域資源活用ビジネス可能性調査支援事業

〈補助対象者〉

町に事業所等を有する個人・団体・中小企業

〈補助対象事業〉

- ①地域資源等を活用した新技術・新商品開発に向けた可能性調査

〈助成金額〉

補助対象経費の10/10以内（限度額200,000円）

※詳しくは下記までお問い合わせください。

☎ ふるさと振興課 ☎ 62-8532

【入札結果】

3月16日～4月15日

広報紙では、契約金額が500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。 ☎ 監理課 ☎ 62-8504

件名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
町道2級笹川十郎原1号線 道路改良工事（法面工）	十郎原	建設課	21,630,000円	(有)モアグリーン
町道1級藤波宇出津1号線 災害防除工事	藤波	建設課	7,665,000円	(株)ランドスケープ開発
4630-3022・3062 農道・農地災害復旧工事	駒渡	農林水産課	20,055,000円	(株)西中建設
4630-3034 農道災害復旧工事	久田	農林水産課	22,722,000円	鈴平建設(株)
4630-3049・3050 農地・排水路災害復旧工事	北河内	農林水産課	7,350,000円	柳田建設(株)
4630-3058・3059 農地・農道災害復旧工事	当目	農林水産課	18,742,500円	柳田建設(株)

「満天星」5月のお知らせ

★プラネタリウム特別企画

プラネットファンタジー

「星座会議・ペンギン座ってあるの？」

写真家・中乃波木さんによる、星とペンギンのメルヘン。プラネタリウムとの

コラボレーションをお楽しみください。

〈日時〉5月3～6日 14時～、16時～

5月13、20、27日 14時～

〈料金〉大人500円 小中学生300円

※通常料金と同じ

★昼間に金星を見よう

青空の中の金星を観察しましょう。

〈日時〉5月13日までの日曜・祝日

14時10分～40分（無料）

★部分日食直前ガイド

5月21日に起きる部分日食のしくみ、

観察方法などを説明します。太陽を観察

するフィルターをプレゼントします。

〈日時〉5月13、20日 16時～

〈料金〉300円（幼児無料、要予約）

★部分日食を見よう

5月21日 6時～9時（無料）

太陽が9割近く欠ける部分日食。大き

く欠けるのは7時35分くらいです。通勤

通学途中にお立ち寄りください。

☎ 石川県柳田星の観察館「満天星」

☎ 76-0101



遊能登

EnjoyNoto
奥能登イベント情報

能登町からは「小木のとも旗祭り」を紹介。

珠洲市



○第 28 回大谷川鯉のぼりフェスティバル
〈日時〉5 月 3 日(休)・4 日(金) 10:00 ～ 16:00
ゴールデンウィークは、初夏を彩る恒例イベントで。たべもん広場、ちびっこ天国など大人も子どもも楽しめます。「鯉恋結婚式」は 3 日 13 時から。

穴水町



○峨山キリシマ展示即売会
〈日時〉5 月 11 日(金)～ 13 日(日)
9:00 ～ 16:00
〈場所〉上中集会所前
12 日、13 日の 11 時～ 14 時は、農家レストラン「きりしま」も開店します。
☎上中園芸組合 ☎ 0768-52-1492 (即売会)

輪島市



○第 24 回 能登麦屋節全国大会
〈日時〉5 月 27 日(日) 9:00 ～ 16:00
〈会場〉輪島市文化会館
能登麦麴の小麦挽きの作業唄として県の無形民俗文化財に指定されている「麦屋節」を、全国から集まったのど自慢たちが歌いあげます。

今日のオススメ！



■罷撃ち 久保俊治
猫だけで生活してみたかった！
相棒は純白の北海道犬「フチ」。
北海道の大地とアメリカの森を駆け抜けた若き狩人のノンフィクション紀行記。

■マルセル 高樹のぶ子

実在の未解決事件をテーマに恋愛小説の名手が贈る芳醇な「絵画」ミステリー。



■新刊案内

春を背負って 笹本稜平
大江戸釣客伝 夢枕獏
あんぼん～孫正義伝～ 佐野真一
かわいそうだね？ 綿矢りさ
ルーズヴェルト・ゲーム 池井戸 潤
坂の上の坂 藤原和博
見仏記ぶらり旅篇 いとうせいこう・みうらじゅん

■行事予定

- ・おはなし会 16 日(水) 15:30
- ・読書会 23 日(水) 13:30

〈開館時間〉水～日曜日 9:00 ～ 17:00

〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日

こどもみらいセンター ☎ 62-1503 ★：対象未就園児の親子

◆開館時間 9:15 ～ 17:30 ◆休館日 月曜日、第 3 日曜日

11 日(金) 10:30 ★ふれあいタイム
13 日(日) 10:00 母の日プレゼント作り※小学生以上
18 日(金) 10:30 ★ふれあいタイム
25 日(金) 10:30 ★身体計測
26 日(土) 13:00 親子レクリエーション大会 (会場：WAVE のと)

まつながみキッズセンター ☎ 72-0269

◆開館時間 10:00 ～ 18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日

9 日(水) 15:00 端午の節句ミニお茶会
11 日(金) 15:30 ペン上手 (硬筆学習)
16 日(水) 15:00 猿回しがやってくる！
19 日(土) 15:00 おはなし隊がやってくる！
※読み聞かせ「ひまわり」と一緒です。
23 日(水) 15:00 あっぶるたいむ「シャボン玉」
25 日(金) 15:30 ペン上手 (硬筆学習)

図書館へおいでよ

中央図書館 (宇出津公民館内)

☎ 62-3458

児童館だより



能登空港イベント INFORMATION

ゴールデンウィークイベント

☆のとキリシマツツジ

フェスティバル (3 ～ 5 日)

〈時間〉9:00 ～ 17:00 (5 日 16:00 まで)

〈場所〉芝生広場

☆まいもん市 (3 ～ 4 日)

〈時間〉10:00 ～ 16:00

〈場所〉芝生広場

☆のっぴーフリマ (3 ～ 4 日)

〈時間〉10:00 ～ 15:00

〈場所〉芝生広場

☆こどもフェスティバル (5 日)

〈出演〉輪島・和太鼓虎之介、輪島
高州太鼓ほか

〈時間〉① 11:00 ～ ② 13:00 ～

〈場所〉空港前広場

※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告により掲載しています。

平成 24 年度第 1 回町民グラウンド
ゴルフ交流大会 参加者募集

〈日時〉6 月 24 日(日)受付 8:00 ～

〈会場〉柳田植物公園おまつり広場

〈対象〉能登町民 (中学生以上)

〈競技〉団体:1 チーム 4 人制 (原則、
公民館単位)

個人:一般の部、協会の部

〈申込期限〉6 月 15 日(金)

〈申し込み〉各体育館、各公民館、
藤波運動公園まで

※参加無料、初心者歓迎です。

☎町教育委員会事務局 ☎ 72-2509

第 55 回能登町内浦一周駅伝競争大
会 参加チーム募集

〈日時〉6 月 3 日(日) (雨天決行)

受付 8:00 ～、開会式 8:30、出発 9:30

〈場所〉開会式:旧小木小学校グラ
ウンド、閉会式:内浦陸上競技場

〈チーム編成〉監督 1 人、選手 5 人、
補欠 4 人以内

・1 部:能登町民、町出身者、能登
町で 3 カ月以上勤務する人
第 1 区 (一般)、第 2 区 (一般または
中学生)、第 3 区 (一般または高

みんなの能登空港

～ 5 月のイベント～

☆ 6 日(日) おらが故郷お国自慢

「大島優」ギター弾き語りミニコン
サート

〈時間〉15:00 ～

〈場所〉能登空港 2 階ロビー

〈協力〉珠洲市

☆ 13 日(日)首都圏交流企画

キングレコード民謡歌手と民謡唄囃
子の名手が能登空港にやってくる!!

作曲家 原賢一先生と「キング故郷
うたの会」民謡コンサート

〈時間〉14:00 ～

〈場所〉能登空港 2 階ロビー

☆13日(日)のっぴーグラスを作ろう!!

〈時間〉10:00～12:00、13:00～15:00

〈場所〉能登空港 1 階

〈対象〉幼児から小学生以下優先

〈参加費〉無料 (限定 50 人)

〈協力〉県生涯学習センター

☆ 20 日(日)おらが故郷お国自慢

輪島・和太鼓虎之介ミニコンサート

〈時間〉14:00 ～

〈場所〉能登空港 2 階ロビー

〈協力〉輪島市

☎能登空港賑わい創出実行委員会

☎ 0768-26-2303

校生)、第 4 区 (一般)、第 5 区 (一般)

・2 部:1 部および 3 部以外

・3 部:中学生の部

〈監督者会議〉5 月 25 日(金)に

内浦スポーツ研修センターで開催

〈参加料〉1 チーム 2,000 円

〈申し込み〉5 月 24 日(木)までに町陸
上競技協会 (高田清保 ☎ 62-0124、
FAX 62-1250) に申込用紙を提出

第 8 回能登町民ゴルフ大会

〈日時〉6 月 2 日(土) 9:54 スタート

〈場所〉ザ・カントリークラブ能登

〈対象〉能登町在住・在勤・出身者など

〈参加費〉3,000 円 〈定員〉50 人

〈申込期限〉5 月 25 日(金)

☎町ゴルフ協会事務局 大森

(役場健康福祉課) ☎ 72-2503

がんばりました (結果)

第 6 回能登町民バドミントン大会
(3/25)

〈小学生〉①藤巻志歩、新出拓哉②
山本幸太、山根輝之③高田采佳、山

根大輝 (敢闘賞)笹野倫代、正木涼太
〈男子学生〉①板谷響、乙川一馬②
新出悠哉、政田龍平③谷口諒真、安
孫幹 (敢闘賞)宮本晃介、景浦啓太

〈女子学生〉①坂本莉萌、宮下文香、
②蒲田瑞季、高田七海③田代成穂、
岩住さくら (敢闘賞)小島瑞稀、広
瀬佳香

〈一般 1 部 (初心者)〉①大屋雅晴、
笹野俊恵②ダニ・カムダニ、アル・
イクワン③スラメト・リyono、マ
ーラト・ブディヨノ (敢闘賞)岡田菜
摘、篠塚瑞希

〈一般 2 部〉①坂本莉萌、宮下文香
②谷口諒真、田代成穂③上島茂利、
谷口朱里③干場和規、大森久恵 (敢
闘賞)笹野祥代、新出菜帆 (敢闘賞)
寺田正俊、小島瑞稀

平成 24 年度能登町スポーツ少年団
結団式 (4/15)

内浦体育館に団員、保護者ら約
300 人が集まり、1 年間元気に活動
することを誓いました。結団式のあ
とは、体力テストを実施しました。



誓いの言葉を述べる団員代表。左から小関英
里子さん (小木ミニバス)、尾形怜雅 (能都
柔道)、山本都寛 (柳田野球)

作って・食べてみよう！能登町ふるさと自慢料理（毎月19日は家族団らん食育の日）

【レシピ24】よもぎ（蓬）もち

摘みたてのよもぎは、ゆがいて冷凍保存できます。あんを入れると、さらにおいしく出来上がります。よもぎには、古くから毒気や邪気を払う力があり、食すると寿命が延びると言われています。

○材料

もち米 1升

よもぎ 250g 程

塩 15g

※あんこ



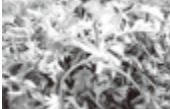
○作り方

①春先のやわらかいよもぎの葉をつんで、きれいに洗う。

②重曹を加えたお湯でゆで、さっと水洗いをする。

③蒸したもち米に、塩、よもぎの葉を加え、もちつき機でつく。

④あんをくるんでも、そのまま食しても良い。



【レシピ提供】内浦支部食生活改善推進員

能登町民は太^{ふとっばら}っ腹？ ～太っ腹の影響が出ていないか、特定健診で確認を～

特定健診・がん検診は6月13日から始まります

能登町国民健康保険の特定健診結果で、**お腹まわりが大きい（腹囲男性85cm、女性90cm以上）人の割合は、約36％**でした。特定健診が開始された平成20年度から、能登町は常に県下トップの割合となっています。

お腹まわりの脂肪（内臓脂肪）は、溜まりすぎると血管の傷み（動脈硬化）を加速する原因となります。海の幸、山の幸がととても豊かな能登町ですが、その食べ方、飲み方（量や内容、食べる時間帯など）には、注意が必要なようです。

特定健診では、血圧や血液中の血糖・脂質（コレステロールや中性脂肪）など、血管の動脈硬化を進める項目を検査し、お腹まわりの脂肪の影響が出ているかどうかをしっかりと確認することができます。

〈石川県19市町国保で見ると検査項目順位〉 ※H22年度能登町国保特定健康診査受診者（受診率32.7%）の状況

	検査項目	要注意レベル	要注意以上（未満）の割合	県下市町での順位
エネルギーのとりすぎを表す項目	腹囲	男：85cm以上 女：90cm以上	36.4%	1位
	BMI（肥満度）	25以上	29.5%	2位
	中性脂肪	150 mg/dl 以上	27.5%	4位
	肝機能（GPT）	31 IU/l 以上	12.8%	12位
	善玉（HDL）コレステロール	40 mg/dl 未満	7.6%	7位
要注意以上が重なることで加速して動脈硬化を進める項目	血糖	空腹時：100 mg/dl 以上 随時：140 mg/dl 以上	15.6%	18位
	ヘモグロビンA1c（1～2カ月の血糖値の平均）	5.2%以上	71.2%	14位
	尿酸	7.0 mg/dl 以上	8.1%	14位
	最高血圧	130 mmHg 以上	44.8%	5位
	最低血圧	85 mmHg 以上	18.5%	9位
単独でも動脈硬化を進める項目	悪玉（LDL）コレステロール	120 mg/dl 以上	48.0%	18位

能登北部医師会 休日当番医（5月）【受付9:00～12:00】 都合により当番医が変更になる場合がありますので、あらかじめ電話してから受診してください。

3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)	13日(日)	20日(日)	27日(日)
まるおかクリニック ☎ 0768-52-8228 穴水町川島	永井医院 ☎ 0768-22-0032 輪島市鳳至町	まるおかクリニック ☎ 0768-52-8228 穴水町川島	熊野医院 ☎ 0768-22-1100 輪島市鳳至町	はしもとクリニック ☎ 62-8300 能登町崎山	伊藤医院（喜） ☎ 0768-42-0262 輪島市門前町	定梶医院 ☎ 0768-45-1351 輪島市門前町
大貫眼科医院 ☎ 82-0017 珠洲市上戸町	生垣医院 ☎ 76-0001 能登町柳田	井端内科医院 ☎ 84-2535 珠洲市宝立町	柳田温泉病院 ☎ 76-1223 能登町上町	栗倉医院 ☎ 0768-32-0018 輪島市町野町	なかたに医院 ☎ 82-8333 珠洲市上戸町	小木診療所 ☎ 74-0100 能登町小木

◆乳児健診・BCG接種

〈日時〉6月7日(木) 〈受付〉12:45～13:00

〈対象〉平成24年1月6日～3月7日生

〈場所〉能都庁舎 1階集会室

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、BCG 予防票
バスタオル1枚

◆1歳6カ月児健診

〈日時〉6月28日(木) 〈受付〉13:00～13:15

〈対象〉平成22年10月27日～12月28日生

〈場所〉能都庁舎 1階集会室

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票

◆3歳児健診

〈日時〉5月10日(木) 〈受付〉13:00～13:15

〈対象〉平成21年1月1日～2月15日生

〈場所〉能都庁舎4階大集会場

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票①・②、採尿容器

◆離乳食教室～スタート（開始から7カ月ごろまで）編～

これから離乳食をはじめるころから、約7カ月ごろまでの教室です。参加を希望する人は、5月1日までに役場健康福祉課（☎ 72-2504）までお申し込みください。参加費は無料で、身体計測もできます。

〈日時〉5月8日(火) 〈受付〉10:00～10:20

〈場所〉こどもみらいセンター

〈持ち物〉母子健康手帳、大人用エプロン、おむつなど

■『コツコツ運動教室』参加者募集！

月に1度、みんなでウォーキングやグラウンドゴルフなどの軽スポーツをして楽しく健康維持に努めてみませんか。参加希望の人は健康福祉課までご連絡ください。

■『高齢者交流会』を開いてみませんか？

ボランティアさん募集！

自分の地域の高齢者に生き生きと元気に過ごしてもらうため、公民館や集会所で月に1回程度みんなが集まる「場」づくりをしませんか。開催にあたり、町がいろいろ支援します。健康福祉課までご連絡ください。

（連絡先 健康福祉課☎ 72-2504）

■『健康チェック』聞きとりのお知らせ

年齢を重ねても元気で過ごすには、介護予防が必要です。心身の働きが低下していないかを把握するため、町から委嘱された調査員が対象者の自宅に伺い、「健康チェック（基本チェックリスト）」の聞きとりを行います。健康チェック後、心身の機能低下の恐れがあると判定された人には、6月末までに介護予防教室のご案内を送付します。

〈対象〉内浦地区の75歳以上（介護認定者を除く）

〈期間〉5月1日(火)～5月25日(金)

☑健康福祉課 地域包括支援センター☎ 72-2513

公立宇出津総合病院 ☎ 62-1311 だより

http://www.hospitalnet.jp/

診療情報は、病院ホームページで確認できます。

■5月長期連休小児科救急当番医

開業や勤務されている小児科の先生方の働きかけで、5月の長い休み中に小さなお子さんが安心して過ごせるよう小児科救急当番医を下記のとおり実施することとなりました。救急診療時間は午前9時から12時までです。（事前連絡が必要です）

当番医	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)
市立輪島病院 ☎ 0768-22-2222		救急		救急
珠洲市総合病院 ☎ 82-1181		救急		救急
公立宇出津総合病院 ☎ 62-1311	救急		救急	
まるおかクリニック ☎ 0768-52-8228	救急		救急	

■耳鼻科の診察日が週3日になりました（9:00～12:00）

曜日	月	火	水	木	金
担当医	小森 岳			中西庸介	上野貴雄

■糖尿病・内分泌外来診察日の案内

糖尿病のコントロール・治療が必要と判断された人、高脂血症などの人を対象に専門医が精密検査や治療を行います。内科外来までお越しください。

【診察】太田医師 【5月の診察日】14日(月)、28日(月)

■今年、宇出津総合病院に新しく4人の医師、3人の看護師を迎えました。今月号と来月号で紹介します。



①長谷川 啓 医師（外科・消化器科）

4月1日から外科・消化器外科に赴任しました長谷川啓（はせがわ・はじめ）と申します。今後は宇出津病院のスタッフと共に、能登町の皆さまの健康のため、今まで経験してきた技術のすべてをかけて頑張っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

②坂元とも子 医師（皮膚科）

4月から皮膚科に勤務となりました坂元とも子と申します。宇出津病院の皮膚科では初めての女性医師となります。女性の方はもちろん、気軽に受診していただければと思います。能登の皆さまの健康のために精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



③関 晃裕（内科）

4月1日から内科に勤務することになりました関晃裕（せき・あきひろ）と申します。宇出津に転居して日も浅く、まだまだ不慣れなことも多い若輩者ですが、能登町民の皆さまの健康のために一生懸命に頑張る所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

④藤井邦裕（小児科）

4月から小児科勤務となりました藤井邦裕（ふじい・くにひろ）と申します。宮城県では18年間小児科医として働いていましたが、故郷が羽咋のため石川県に戻ってきました。未来ある子どもたちの健康のために頑張りますので、よろしくお願いいたします。



くらしの掲示板

石川の海岸をきれいにしましょう

県内一斉に各地の海岸で清掃活動を実施する「クリーン・ビーチいしかわ」が、今年も下記の日程で実施されます。能登町では3カ所の海岸で清掃活動を計画していますので、最寄りの場所に参加してください。美しい石川の渚を守り、野鳥や魚を守るため、町民の皆さんの参加をお願いします。

〈日時〉5月27日(日) 7:00～
〈場所〉恋路海岸（旧海水浴場）
五色ヶ浜海水浴場
羽根海岸（旧海水浴場）
☎町農林水産課 ☎ 76-8302

松食い虫防除薬空中散布を実施

松食い虫による被害を防ぐため、ヘリコプターによる防除薬剤空中散布を行います。天候により日程を変更する場合がありますので、ご理解をお願いします。
〈空中散布の日程〉
5月30日(水)：高倉・宇出津・三波・鵜川地区
5月31日(木)：小生間・桐畑・合鹿・上・滝の坊・福光・明生地区
空中散布の時間帯は、気流が安定している午前4時から午前9時ごろまで行います。

〈散布に関する注意事項〉
①散布中は、散布区域内や周辺に立ち入らないでください。自動車での乗り入れもしないでください。
②散布中、周辺地域にお住まいの人は窓を閉め、洗濯物やペットなどを

外に出さないでください。
③散布区域周辺で飼養している家畜は畜舎に係留し、散布区域内の飼料は4週間程度与えないでください。
④散布地域の山菜や山水は、4週間以上経過するまで口にしないでください。
⑤散布区域内に入るのは、2週間以上経過してからにしてください。
☎町農林水産課 ☎ 76-8302

「能登の里山里海」の写真募集

世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」を幅広く周知し、その魅力をPRするため、能登の里山里海の四季の写真を募集します。
〈応募期間〉
春の段：5月1日～6月10日
夏の段：8月1日～9月10日
秋の段：11月1日～12月10日
冬の段：2月1日～3月10日
(すべて当日消印有効)

〈応募資格〉
プロ・アマ問わずどなたでも応募できます。詳しくは「能登の里山里海」情報ポータルサイトまたは下記までお問い合わせください。
〈問い合わせと応募先〉
世界農業遺産活用実行委員会（石川県環境部里山創成室内）
☎ 076-225-1469

災害ボランティアコーディネーター

災害時に設置・運営される「災害対策ボランティア現地本部」で、地元の立場からさまざまな形で現地本部の活動に関わることのできる「災

害ボランティアコーディネーター」を養成する研修会を開催します。
〈期日〉6月23日(土) 24日(日)
〈場所〉県生涯学習センター能登分室講義室(能登空港ターミナルビル)
〈対象〉18歳以上の石川県在住の人で、二日間通して受講できる人
〈受講料〉無料
〈定員〉50人
〈申し込み〉5月30日(水)まで
☎県民交流課 ☎ 076-225-1365

設備資金を長期・無利子で貸付

小規模企業者、未創業者や創業後1年未満の皆さんが、創業・経営基盤の強化を図ろうとするために必要な設備資金を長期・無利子で貸し付けします。

	設備資金貸付制度
対象企業	従業員数50人以下の中小企業
対象設備	県内に設置し、自己の企業で使用する設備
貸付限度	①一般企業 50～4000万円 ②法認定計画等の場合※ 66～6000万円
貸付割合	①設備購入代金の1/2以内 ※法認定計画等は2/3以内
償還方法	年賦、半年賦、月賦のいずれか

※法認定計画等など、詳しくは下記までお問い合わせください。
☎財県産業創出支援機構経営支援部設備資金課 ☎ 076-267-1174

能登半島地震復興基金の説明会

財能登半島地震復興基金の支援事業メニューについて、下記のとおり説明会を行います。
〈日時〉5月16日(水) 14:00～15:00

〈場所〉奥能登行政センター(能登空港)4階41会議室
〈対象者〉県内にある民間団体で、能登の活性化に取り組み、市町などから支援・協力が得られる団体
☎財能登半島地震復興基金(県地域振興課内) ☎ 076-225-1317

陸上自衛隊中央音楽隊演奏会

〈日時〉6月25日(月) 18:30開演
〈場所〉金沢歌劇座(金沢市下本多町)
〈費用〉無料(入場整理券が必要です)
〈入場整理券取扱所・問い合わせ先〉
①自衛隊石川地方協力本部能登地域事務所 ☎ 0768-52-4175
②金沢歌劇座 ☎ 076-220-2501

九十九湾園地の自然を探検！

初夏を迎えた九十九湾園地では、さまざまな生きものたちが活発に活動しています。それらの生きものをじっくりと観察します。
〈日時〉5月19日(土) 13:00～16:00
〈定員〉20人(対象：子ども～一般)
☎のと海洋ふれあいセンター ☎ 74-1919

ふれあい看護フェア2012開催

看護の日、看護週間の事業としてふれあい看護フェアを開催します。
〈日時〉5月12日(土) 10:00～13:00
〈場所〉シーサイドショッピングプラザ(珠洲市飯田町)
〈内容〉健康チェック、健康相談、感染予防、パネル展示、ナースバンク移動相談など
☎石川県看護協会 ☎ 076-225-7771

心配ごと相談をご利用ください

■能都庁舎
5月9日(水)、18日(金) 10:00～12:00
■笹ゆり荘
5月8日(火)、22日(火) 10:00～12:00
■内浦福祉センター
5月10日(木) 13:30～15:30
■小木支所
5月21日(月) 13:30～15:30
☎社会福祉協議会 ☎ 72-2322

行政相談委員にご相談ください

行政全般についての苦情や意見を受け付け、公正・中立の立場からその解決を図ります。
〈相談時間〉10:00～12:00

会場	日程	相談委員
小木支所	5月1日(火)	吉岡相談委員 ☎ 74-1111
笹ゆり荘	5月15日(火)	廣橋相談委員 ☎ 76-0088

☎町総務課 ☎ 62-8510

能登法律相談センターの相談日

〈5月〉10日、17日、24日、31日(木)
〈時間〉13:45～16:15(要予約)
〈場所〉穴水町保健センター
〈申し込み〉相談日前日の午後5時までに電話で予約ください。
〈相談料〉30分以内：5,000円
※クレサラ相談は初回無料です。
☎金沢弁護士会 ☎ 076-221-0242
家庭教育やDVで悩んでいたら
能登町なんでも相談「カナリア」
☎ 76-2874
〈日時〉毎週火、木曜日 10:00～14:00



有料広告

能都体育館が住まいのショールームに！

スマイルフェスタ

笑顔いっぱい＆おトクいっぱいの2日間

5/12(土)・13(日)

会場：能都体育館 能登町崎山1-1

リフォームショップ **サンユー**

珠洲市飯田町7部76番地 TEL 0768-82-2118 FAX 0768-82-4675
http://www.sunyou-works.jp e-mail info@sunyou-works.jp

観賞無料

輪島和太鼓

虎之介 太鼓演舞

他にも楽しいイベント満載

詳しくは5/11折込チラシで！

5月連休ごみ収集などの営業案内		○：営業×：休業					
	5/1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)	
ごみ収集	ごみ・収集カレンダーのとおり						
奥能登クリーンセンター	○	○	○	○	○	×	
埋立処分場	○	○	×	×	×	×	
し尿収集	○	○	×	×	×	×	
能登三郷斎場	○	○	○	○	○	○	

※7日(月)以降は通常どおりです。

石川県最低賃金 時間額687円

(改正発効日 平成23年10月20日)

使用者は、これより低い賃金で労働者を使用することはできません。詳細は石川労働局(☎ 076-265-4425)または最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。
石川県労働局ホームページもご覧ください。
http://ishikawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/

INTERVIEW



三波公民館長
徳田博史さん
とくだ・ひろし＝波並

今年から三波公民館の主催イベントとなりました。公民館としては、地域の皆さんに楽しんでもらい、地域が活性化すればと願っています。

会場の熱気で桜が咲くのではないかと思います。地元の皆さんはもちろん地域外からもたくさんの方が来場してくれ、うれしく思っています。

今後は地域の皆さんの声を聞きながら、三波地区の伝統や特色をもっと出していければと考えています。



「波並で花見」スタッフ
大黒美憲さん
だいこく・よしの＝波並

買い物することが被災地への応援となるので、誰でも気軽にチャリティーに参加できるイベントです。同じ地区に住んでいながら、普段あまり顔を合わさない人たちが集い、会話を交わし、触れ合う場となり、地域の絆は深まっていると感じています。

地域の価値は、そこに住む『人』で変わります。住んでいて楽しいと自信を持って言える地域づくりが次の世代への活力となるはず。自分たちの力で地域の価値を高めていけるよう、これからもみんなで頑張っていきたいと思います。



4_高校生3人が、かわいいうるみを着て会場を盛り上げた。
5_チャリティーを宣言する看板。
6_スタッフ手作りのTシャツとエコバッグも販売。
7_早咲きさせた「のとキリシマツツジ」が展示即売。
8_ティーアドバイザーの資格を持つ山崎香奈江さん(左)が紅茶教室を開催。参加者は紅茶の解説を聞きながら3種類のフレーバーティーを楽しんだ。



のライブ▽バザー▽マッサージ▽抽選会」など、さまざまな催しが企画され約500人の来場者を楽しませていた。桜の開花が平年より1週間ほど遅れ、花見を楽しむことはできなかったが、今にも開きそうに色づいたつぼみが会場の光を和らげていた。会場の一角では、早咲きさせた『のとキリシマツツジ』が桜の代わりと言わんばかりに真っ赤に咲き誇っていた。

今年のイベントも東日本大震災のチャリティーを兼ね、主催者側の収益の一部は義援金として被災地へ送られる予定だ。

地域の若者たちが『何か面白いことをやってみよう』と起こした小さな波紋は、波並から三波地区へ、三波地区から能登町全体へと、少しずつ広がっている。

笑顔の連鎖を波並から

『波並で花見』は地域活性化とチャリティーを兼ねた花見イベント。昨年、波並地区の有志が集まり東日本大震災チャリティーイベントとして初めて実施された。今年からは三波公民館の主催となってパワーアップ。公民館職員や運営委員、地元有志などがスタッフとなり、4

月15日に開催された。メイン会場の広場には中国料理やベトナム料理、沖縄料理など多国籍な料理のほか、地元の飲食店が並んだ。公民館ホールにはカフェとアートを楽しむスペースが用意され、紅茶教室や陶芸ワークショップなども開かれた。そのほかにも▽ステージで

すべてが手作りのイベント。「波並で花見(はなみではなみ)」が開催。



1_たくさんの人が詰めかけたチャリティーバザー。並べられた商品は、三波地区の皆さんが協力した。
2_昨年11月に開催されたイベント「あったか食堂」でも大人気だった浅井麗華さん(中国出身、能登町在住)の「水餃子コーナー」。
3_手作りのステージで曲を披露する能登町出身のシンガーソングライター、masumiさん。